

私のお勧め 観光スポット

「関屋戊辰戦争跡」 を歩いて見ませんか(二)



新潟シティ
ガイド
深澤 一彦

次に、戊辰公園に向かい
国道をさらに下って県立
新潟高校前の右側角地に戊
辰公園があります。

ここは、東軍総督色部長
門の戦死の地であり、追念



色部長門追念碑(戊辰公園)

碑があります。
慶応四年七月
二十九日西軍の
総攻撃を受け、
新潟町を戦火か
ら救うため、西堀光
林寺の本陣で東軍各
藩に解散命令を出
し、新潟町から浜街
道(五十嵐街道)を西
へ退却させた後、自
らも従臣三十数人と
ともに退路を進みま
した。ところが途中
案内人の失態から、
この場所(西軍と遭
遇戦となり色部長門
を含め米沢藩士の大
半が壮烈な戦死を遂
げた場所)です。



戊辰の役米澤藩四戦死の墓(念仏寺)

色部長門がこの地で戦死
してから六十数年後の昭和
七年、旧関屋村庄屋、齊
藤家の十三代当主だった
齊藤巳三郎が、戊辰戦争
で新潟町を戦火から救っ
た功績と武士道精神を惜
しみ「新潟関屋戊辰戦績
保存会」を設立し、「関屋
土地区画整備組合」が後
援となり、戊辰公園を造
り、色部長門追念碑を建
立しました。

次に、県立新潟高校上
手の念仏寺に向かいます。
浄土真宗大谷派齊藤山
妙定院念仏寺です。
元治元年(一八四八年)
齊藤金兵衛創立で、現在
の建物は明治四十四年に改
築されました。戊辰戦争米
沢藩死者四士の墓があり、
色部長門の首を弔い供養し、
西軍が去った後、米沢藩の
遺族に引き渡されました。
最後は、学校町三番町の
天満宮へ向かいます。
色部長門が西堀光琳寺の
本陣から退路の途中、白山
神社付近での戦闘後、浜街
道をめざしましたが、当時
新潟町と関屋村の境界だっ
た天満宮裏を過ぎたところ
で退路を誤り、戊辰公園あ
たりで西軍と激しい遭遇戦
となりました。そして色部
長門も遂に銃弾に倒れ従臣
に運ばれ、介錯され絶命し
た場所が天満宮向い上手約

私のおすすめの一冊
「湊町新潟に伝承する文
化・芸能の歴史的資料」
(財)東日本鉄道文化財
団編
非売品で新潟中央図書館
に蔵書されています。
全六章見開きA3で
・湊町新潟の誕生
・北前船と新潟
・新潟開港と県都新潟
・古町花街と古町料亭文
化
・日本舞踊市山流
・新潟の堀

活字も大きく、新潟の
歴史を知る手掛かりに最
適だと思いい、ご紹介させ
ていただきました。



五十メートル位の茄子畑だ
ったと言われております。
なお、時間と足に余裕があ
れば、旭町の招魂社跡及び
西堀光林寺の東軍本陣跡と
新潟町奉行所跡(NEXT
21)まで歩いてみましょう。

新潟シティガイドが発
足して三年目に入りまし
た。
この間、会の活動も徐
々に市民の皆さまの間に
理解されつつあるのでは
ないでしょうか。
今年度は新たな試みと
して、土日限定ですが、
私たちが年間を通し、西
堀ローサ「まちなか情報
広場」に待機し、ガイド
などの活動をすることに
なりました。

今回、冒頭にNPO法
人新潟絵屋代表の大倉宏
さんから、「古い町の価
値を届ける」という大変
有益な原稿をいただきま
した。
私たちがガイドを通
し、新潟のまちを、多く
の方々知っていただく
大切さを、改めて認識す
ることができました。
これからも会員の皆さ
まからの積極的な投稿を
よろしく願います。



(編集室)

編集後記

新潟シティガイド

No. 7
《編集発行》
新潟シティガイド
《発行人》
八木 洋

古い町の価値を届ける

NPO法人新潟絵屋代表
・美術評論家
大倉 宏

新潟の下町(しもまち)
に画廊「新潟絵屋」を始め
て十年になります。建物は
大正時代の町屋の一部で、
道路拡幅にともない、三年
前に現在地に並木町から解
体移築したものです。

十年前、広小路から住吉
町、並木町に通じる道筋周
辺には、古い町屋や蔵がひ
しめいていました。ただ町
屋も蔵も「見るべきもの」
という空気が、当時にはあ
りませんでした。

移転するまでの六年半、
その古い町が壊れ空き地に
なっていく様子を、逐一目
撃しました。太い梁の土蔵、
羽目板が精緻な町屋が、無
惨に壊されていくのを見る
のは胸が痛みました。こん

びら通り裏に、
町屋が多く残る
道があり、通る
たびにぞくぞく
したのですが、
道路拡張で半分
ほどの長さに削
られ、町屋はほ
んど壊されました。六年
の間に、体に入りまし
た。

新潟は一度も本格的
な空襲を受けず、下町
は昭和三十年の新潟大
火でも焼けませんでした。
た。萬代橋より下流に
橋がなかったの「開
発」からも取り残され、
古い建物が驚くほどの
割合で残っています。
しかし今後もこの古い
町が、古い姿を保って
いくには、古い建物の
価値が実感されなけれ
ばならないと思いま
す。

遠来の人たちを、下
に案内すると、とても



新潟絵屋

うになることがあります。
シティガイドの団体が誕
生し、下町を案内するとい
う時代が来ようとは、十数
年前には考えられませんが
した。新潟絵屋も当初は道
路建設反対運動の砦のよう
にとられたりしたものです。
歴史が目に見える下町が、

喜び、面白
がります。
住んでいる
と見慣れ、
分らなくな
ってしまっ
ることが、「外
の人の目」
を通じて感
じられるよ

広小路を襲ったような暴力
をまた受けることなく、存
続していくためには、新鮮
な外の人たちの声を住んで
いる人々に届かせることも
力になります。旧小澤邸の
公開、早川堀周辺の整備は、
地域を変える一つの契機に
なるでしょうし、個人的に
は、絵屋のように、歴史的
な建物を生かした店舗がも
っと増えてほしい。興味を
持って訪れる人、「交流人口」
の増加が、そのためには必
要です。

の三月十二日現在、通常ガ
イド(一人五〇〇円)が百
十一件七〇五人、学校関係
や各種団体、外部企画での
参加者を含めると三、四三
九人で、初年度の平成二十
年に比べて、通常ガイドの
件数でおよそ二倍、全ての
ガイド参加者は三倍強の実
績を上げたことになりました。
大観光交流年のイベント参
加者が多かったのが大きな
要因と思われませんが、活
動の範囲規模とも着実に大
してきます。新潟市は今年
度末、第三回の養成講座を
開講する予定と伺っていま
す。平成二十三年度は、早
い時期に新たな講座修了者
を加えて、会員数は七十
八人なるものと思われま
す。会員同士の意思疎通や
組織の運営に今まで以上に
注意を払わなければならま
せん。活動面では、外部の
計画やイベントに頼るだけ
でなく、自ら企画した「ま
ちあるきガイド」を充実さ
せる必要があります。気
軽に相談し合い、報告を確
実に実行しながら、全員参
加でこの会を盛り上げてい
きたいものです。楽しい活
動こそが私たちの目標です。
新潟市の関連部署や新潟コ
ンベンション協会等、関係
する方々のご指導と応援を
いただきながら頑張ってい
きたいと思っています。



代表
八木 洋

三年目を迎えた 新潟シティガイド

新潟シティガイド

新潟シティガイドは平成二
十二年、設立三年目に入る
ことになりました。さまざま
な不安を抱えての船出でし
たが、昨年は二回目の観光
ボランティアガイド養成講
座を修了した方々を迎え、
会員四十八名の団体に成長
しました。ガイド活動はこ

新潟シティガイドと歩く

～西堀ローサからのまち歩き～

新潟シティガイドでは、毎週土・日曜「にいがた文化・観光お尋ねどころ まち歩き」、と銘打った約2時間のガイドをしています。

- 集合場所 西堀ローサまちなか情報広場
○ 案内対象 当日出発時間までに集合場所に集まったお客様
○ 出発時間 10時・13時30分の2回です。
○ 人数 各回15人程度
○ コース 西堀ローサ⇒鍋茶屋⇒かき正⇒市山家⇒三業会館⇒イタリア軒⇒地獄極楽小路⇒白壁通り⇒砂丘館⇒どっぺり坂⇒新潟カトリック教会⇒オギノ通り⇒NEXT21⇒西堀ローサ
○ 料金 一人500円

新潟シティガイド連絡掲示板

- 1 新潟シティガイドの実績・21年4～22年3月()は20年度
(1) まち歩きガイド 705人(489人)
内 下町エリア 207人(149人)
西大畑、西海岸エリア 92人(60人)
白山、医学町エリア 67人(34人)
その他 339人(246人)
(2) その他の外部企画 3,439人(1,081人)
(朱鷺メッセ展望室・花街茶屋・料亭の味と芸妓の舞などです。)
2 新潟シティガイドの電話(固定)設置
西堀ローサ「まちなか情報広場」に固定電話が設置されました。
電話番号は025-201-9159です。
携帯番号の090-1807-3013は今まで通りです。
土・日曜の「まちなか情報広場」で観光まち歩きサービス業務をする人は、ガイドの受付もすることになります。
また、業務終了時は携帯電話への切り替えが必要です。

四月から始まる西堀ローサ「まちなか情報広場」での観光まち歩きサービス業務を前に、新潟観光コンベ

西堀ローサ「まちなか情報広場」にOA機器設置

パソコン協会のご配慮でパソコン、プリンター、ファックス、電話などのOA機器が設置されました。これを機会にこれらの機器を有効に活用するため習熟に努めましょう。また、広報担当者を中心に、新潟シティガイドのホームページ立ち上げの作業にも取り組んでいます。



まちなか情報広場(いつも笑顔で)

会員紹介

Table with 6 columns: 顔写真, 氏名, 住まい, 趣味, 関心のあること, 新潟シティガイドの抱負. It lists members like 佐藤英世, 近藤 勲, 高橋敬文, 渡辺裕江, and 青木美奈子 with their respective details.

私のガイド日記



新潟シティガイド 福山 忠利



秋の白山公園

昨年十一月十一日(水)は朝からどしゃぶりの雨で、とても寒い日でした。朝八時ころ私は白山公園を散策していました。先ほど白山神社で今日一日の無事をお願いしてきたところでお賽銭は十円硬貨十

枚をジャラン!と神様に聞こえるように賽銭箱に投げこみました。神様に聞こえたかな?... 公園の小道は桜の落葉がまるで錦の絨毯を敷き詰めたように真つ赤な色をし、しかも雨に濡れて輝いています。神社の赤い鳥居の脇で、赤い傘をさした人が私を待っていてくれました。その人は「福山さんですか?」

が館内を解りやすく説明してくれました。生徒さんは熱心にメモを取りながら説明に聞き入っていました。生徒さんからも、いろいろ質問していました。館長さんは「一生懸命勉強して、県議員や県知事になる人が、皆さんの中から出てくれることを希望します」とエールを送ってくれました。全員、整列して「ありがとございました」と挨拶をして、どしゃぶりの雨の中を白山公園、神社と巡り、最終の燕喜館に着きました。ここで、私が「新潟湊まち」の歴史を話した後、職員の方から建物の説明をうけて、館内を巡りました。お別れに際し「みなさん! これからも新潟の町を大好きになつて下さいね」と、お願いしました。私も中学二年の時、総合学習で古町五番町の商店で勉強しました。それが今、私が新潟の町が、とても大好きになり、ガイドするキツカケとなっております。雨の中をとても清々しい気分です。この日は私の古希の祝いの日でした。今日のガイドは、きっと神様から私の贈り物?だったのですね! お賽銭百円では少なかつたでしょう

「西堀ローサからのまち歩き」スキルアップ研修

三月二十八日午前、四月から始まる西堀ローサ「まちなか情報広場」での観光まち歩きサービス業務を前に、スキルアップ研修が行われました。研修場所は、市民活動支援センター及び西堀ローサまちなか情報広場で、参加者は登録した会員二十三人でした。はじめにローサでの業務内容や電話応対要領について、新潟市観光政策課丸山さんや役員から説明を受けました。三つの班に分かれて実際のコースを歩いて回りました。指導に当たったのは、間島勝利、一瀬重徳、深澤一彦の三氏でしたが、コースの見どころ・ポイントなどを判りやすく説明され大変有意義な研修でした。

立ち寄り



千鳥湯

昭和二十年以降の新潟島の下町には、銭湯が十数軒あり、夕方になると友達や兄弟で近道の小路を抜けて行ったものです。しかし、今はわずか四軒しか残っていません。西湊町三にある「千鳥湯」もその一つです。大正十三年創業で現在三代目、旧新潟税関庁舎や石山味噌屋さんに近く、入口の夫婦たぬきや灯籠をチェック。富士山風景を眺めながら、ゆっくりと落ち着ける雰囲気。銭湯です。下町ガイドの終着として、ザブーンとひと風呂いかがでしょうか。(藤巻忠次)

